

排泄ケアの専門性を高めるために『TENA マイスター』の認定資格を取得しました



当院では、TENA というスウェーデンの会社のおむつを使用しています。その『TENA』の独自の資格である『TENA マイスター』を、先日4名のスタッフが取得することができました！現在11名の資格取得者が在籍しています。患者さまに快適に過ごしていただけるよう、一人ひとりに適切なケアを提供し、患者さまの笑顔につながるようにしていきます。

ほっこりサロン  
キャンプ場でカレー作りを  
楽しみました



昭和・天応・吉浦地区しょうがい児童者福祉事業所協議会主催の「ほっこりサロン」4年ぶりのイベント開催です。つじヶ丘キャンプ場に約50人の参加があり、自然豊かな中でカレーを作りました。当日は気持ちのよい青空が広がり、外で食べるカレーは美味しかったです♪

## 新入職員紹介

- ①好きな食べ物 ②好きな音楽 ③よく見るTV ④マイブーム

|   |   |   |
|---|---|---|
| <br><b>藤原 汐音</b><br>ふじわら しおん<br>外来・訪問看護/看護師                 | <br><b>岡本 麻衣子</b><br>おかもと まいこ<br>総務課/事務員          | <br><b>山本 絵里</b><br>やまもと えり<br>医事課/事務員          |
| ① サバの味噌煮<br>② インディーズバンドと女性アイドル<br>③ Youtube を見ます<br>④ ドラム演奏 | ① フルーツ<br>② K-POP<br>③ 韓国ドラマ<br>④ 韓国ドラマを観ながらのビール！ | ① 冷麺<br>② ジャンル問わず色々な音楽が好き<br>③ 月曜から夜ふかし<br>④ ヨガ |

専門誌「月刊 DAY」主催の『ぬり絵コンクール』で患者さまの作品が入賞しました



専門誌「月刊 DAY」の「ぬり絵コンクール」で当院入院患者さまの作品が入賞しました！数年前に奥さまとお出かけした際に乗った列車の車窓から眺めた満開の桜を思い出しながら塗った作品が「エピソード賞」に選ばれました！本当におめでとうございます。私たちスタッフも大変うれしく思います。

## BLS 勉強会を行いました

一次救命処置



集中ケア認定看護師が講師になり、職員に対しての BLS 勉強会を行いました。いまや医療機関に限らず、公共機関、駅、商店など、どこにも設置されている AED。めったに触ることはないのに、いざという時に適切に使用できるよう、日頃の訓練が重要です。今後も、患者さま・ご家族・地域の皆さまが安心して当院をご利用いただけるよう、環境作りと職員の技能向上に努めてまいります。

## 直接面会の予約方法が変更になりました。

当院ホームページからの予約になります。

※電話での受付は中止させていただきます。



このボタンから予約してください。

※詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

呉やけやま病院 広報紙

# やけやまだより

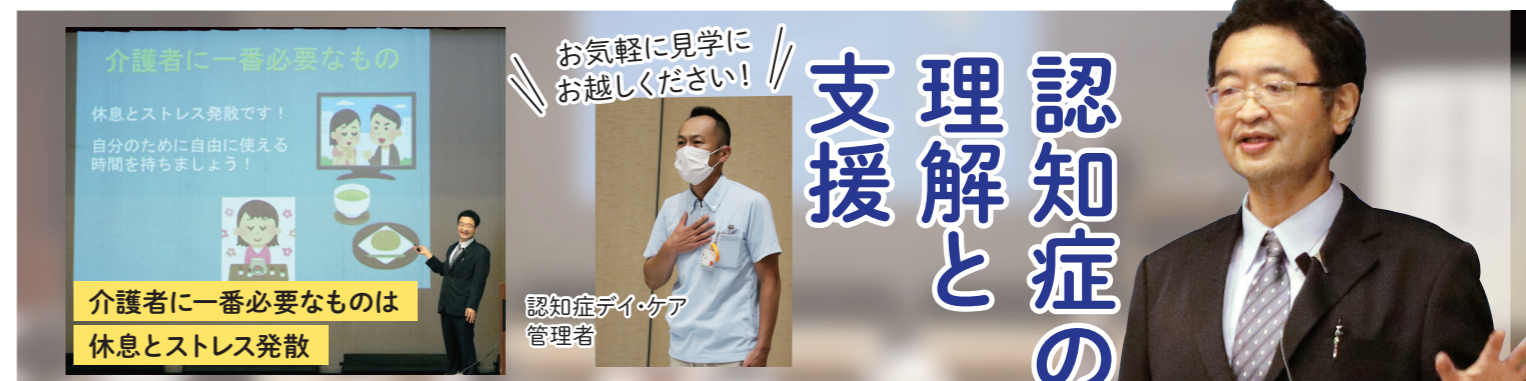
2023 Vol.24 晩秋号

ご自由にお持ち帰りください



作品名 3D実りの秋  
—— 精神科作業療法 ——

秋の田舎の風景の作品です。葉っぱや、さつまいもを立体的に表現できるように制作しました。赤とんぼも飛んでいて、秋を感じられる作品になったと思います。



介護者に一番必要なもの

休息とストレス発散です！  
自分のために自由に使える時間を持ちましょう！

介護者に一番必要なものは  
休息とストレス発散

お気軽に見学にお越しください！

## 認知症の理解と支援

認知症デイケア管理者

呉市昭和地域包括支援センター主催の認知症講演会が開催され、三神医師が講師として講演を行いました。講演の中で、介護者の心がけとして「笑顔で接すること」「おもてなしの気持ちを持つこと」「自信を持てる関わりをすること」「会話をすること」を伝えていましたが、それでも認知症の方を介護することはとても大変です。三神医師は介護者に一番必要なことは「休息とストレス発散」であり、

介護者が自分のために自由に使える時間を持つことが必要と言われていました。当院には、認知症の方が利用できる認知症デイケア「やまデイ」があります。認知症の方だけでなく、ご家族も含めた専門的援助を行うことができるため、困ったことがございましたら、お気軽にご相談ください。



## 呉やけやま病院

〒737-0924 広島県呉市焼山南1丁目8-23

TEL 0823-33-0511 (代表)

FAX 0823-34-1366



ホームページ



Instagram

Instagramで当院の情報を発信しています！



マスコットキャラクターヘルスサポートくん



認知症デイ・ケア  
**やまデイ会 (敬老会)**



認知症デイ・ケアで敬老会を「やまデイ会」として、イベントを行いました。  
午前、ポストカード作り。事前に鶴や亀の飾りの前で撮った写真をつかって、めでたい素敵なカードが出来上がりました♪  
午後は、フラダンスの講師に来ていただき、フラの特徴、手の動きの意味やリハビリの効果など説明していただきました。最後は童謡の「ふるさと」や「涙そうそう」など4曲を踊っていただき、優しい表情や滑らかな手の動きに利用者さま、スタッフも感動しながら一緒に踊り、楽しい鑑賞会となりました♪

呉市キャリア・スタート・ウィーク

**昭和中学校の生徒さんが職場体験に来られました**



中学生が職場体験を通して、勤労することへの意欲を持つようになることが目的の「キャリア・スタート・ウィーク」。昭和中学校2年生4名が職場体験に来られました。院内見学、車いす&ストレッチャー体験、バイタル測定、デイケアプログラム参加、AED体験など3日間体験していただきました。今回の職場体験が、将来看護師や医療従事者をめざすきっかけになってくれればと思います。デイケア利用者さまやスタッフも、生徒さんたちから元気で明るい笑顔と若いパワーをいただき貴重な3日間となりました。

**笑顔 きらりさん** 接遇向上・虐待防止チーム

笑顔でがんばっているスタッフにスポットを当てて「笑顔きらりさん」として紹介します。当院で輝くきらりさんを、ぜひ応援していただくと幸いです。

「利用者さまに笑顔であいさつし、コミュニケーションをとること」を大切にしています。笑顔で関わると、相手の方も自然と表情がやわらいでいるように感じます。利用者さまは日常生活で様々な不安や悩みを抱えている方多いので、少しでも不安を軽減し、安心して生活を送れるように「寄り添った看護」をしていきたいです。

外来・訪問看護 看護師 大隅 亜里

**実習おつかれさまでした!!**  
沖縄リハビリテーション福祉学院より

作業療法士をめざす沖縄リハビリテーション福祉学院の学生さんが当院での実習を修了しました。目標としている作業療法士になれるように頑張ってください!



〈実習で印象に残ったこと〉

- 精神科病院はもっと閉鎖的でトラブルが多いイメージがあったが、患者さまとスタッフが友好的で、OTを楽しみにしていて、居場所になっていると感じた。
- 広島カープが好きな患者さまが多く、話題が絶えない。

認知症予防に向けた運動  
**コグニサイズ**  
みんなでやろう! cognicise



**地域相談センター郷原の里**

地域相談センター郷原の里から依頼があり、「認知症予防教室」を開催しました。地域住民の皆さまに、認知症について知っていただき、コグニサイズ(認知症予防体操)を通して、認知症予防について体験をまじえて楽しく学んでいただこうとの思いです。当日は20名を超える住民の方々に集まっていただきました。脳トレクイズや運動を通し、笑顔もたくさんみられ、活気であふれていました♪



**あじさいの会**

あじさいの会(呉市昭和地区)は、歌を歌うことをひとつの手段として、元気で自立して生き抜く(健康寿命を延ばす)ための仲間作りをすることを目的とされています。あじさいの会から依頼がありました。沖縄から来ている作業療法士をめざす2人の実習生さんと一緒に、皆さまとても元気に取り組んでおられました。

グループホーム  
**やまびこの里**



**8020運動**

日本歯科医師会が推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われています。そのため、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めてこの運動が始まりました。

**8020の達成で表彰されました**

さくらユニットに入居されているSさまが、歯の健康管理が優れており8020(80歳で20本)の達成を、呉市と呉市歯科医師会より表彰されました!とても素晴らしい!仲の良い入居者さま達からもお祝いしていただきました!食事は好き嫌いもなく、いつもおいしそうに召しあがられ、しっかりと毎食後歯磨きもされています♪歯応えのある硬いおせんべいが大好物のSさま、「私はこのくらい硬いのが好きなのよ!」とおっしゃりながら、いつも食べられています。いつまでも健康な歯でいらしてくださいね!!

**AED・心肺蘇生法を学びました!**

消防隊員の方に来ていただき、AEDの取り扱いや心臓マッサージの手法を学ばせてもらいました。心臓マッサージを交代する際のポイントやパッドを貼り付けるときの注意点など、職員からの質問にも丁寧に答えていただき、とても勉強になりました!緊急事態には、頭ではわかっていてもどうしても慌てしてしまうもの。いざという時のために落ち着いて的確な対応ができるよう、今後も繰り返し訓練を行っていこうと思います。入居者さまも「私たちは、誰かがおかしかったら職員さんを呼べばいいじゃね」と大きな声で職員を呼ぶ練習もして下さっていました。

